

目安として、強さの違いを数字で表してみましょ。う。
 アクセント記号のつた音は、"うんと強くひく"というこではありませ。パソコンのキーを
 ポンと叩いたくらの力加減で充分です。

譜例-3

- とつても"微妙な違い"で『つかれる〜』と感じた方が少なくないと思ひます。
 そこで、ちよつと単純にしてみましょ。
 強い音2コは"少しの差"、弱い音は2コとも"はっきり弱く"とすると解りやすいです。
 *コツは、机とか譜面台を、指やペン軸などで叩いて音の強さの違いを感じてみるこです。
- それでもけっして易しい作業ではないので、強くひく指と、弱くひく指を決めてみましょ。
 強くひく指を中指(中)、弱くひく指を人さし指(人)にします。

譜例-4

- 少しひきやすくなつたと思ひます。
 あとは"馴れる"こが必要で。馴れるためには、くり返しひくこしかありません。
 そこで、はじく弦を変えてひいてみるこにしましょ。
 指や弦の記号が増えるので強さの表示(数字)はとつてしまひますが、つねにコントロールするこを
 忘れないうにしましょ。

譜例-5

※丸の中の数字は、弦の番号で。②は2弦、①は1弦を表してひます。
 つまり、2弦と1弦を、中指と人さし指を交互に使つて4回ずつひくこを表してひます。

- 少し馴れたら、3弦と2弦を使つて同じうにひいてみましょ。

譜例-6